

# 安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑭

2020年6月25日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール [info@kaikenno.com](mailto:info@kaikenno.com) ☎03-3221-4668

## 通常国会閉会（6月17日）までの署名提出は 発議反対署名＝初提出 261,354 人分 3000万人署名＝累計 10,109,007 人分

（衆参両院ホームページ6月18日閲覧確認）

### 「署名が世論と政治を動かす」「声をあげれば政治は変わる」 —通常国会から

通常国会（1月20日～6月17日）では、安倍政権が提出した60本の法案（前国会からの継続1を含む）の内56本が成立、悪政に拍車をかけることになりました。一方、内閣が提案した検察庁改定案を含む国家公務員法等改正法が廃案になり、種苗法改正法案、地方公務員法改正案、オリンピック・パラリンピック特措法改正案の3本が継続審議となりました。

特に廃案になった国家公務員法等改正案に束ねられていた検察庁法「改正」案は、黒川東京高検検事長の定年延長の1月の閣議決定を後付けし、内閣が検察官人事に介入できるようにするものでした。「#検察庁法改正案に抗議します」の「ツイッターデモ」で、1000万を大きく超える規模でのつぶやきが交され、私たち全国市民アクションが呼びかけたネット署名も35万を超えるなど世論が大沸騰し、廃案に追い込み、安倍政権に打撃を与えました。

この国会期間、発議反対署名や3000万人署名などの全国各地での展開、市民と野党の共同、国会内での野党の共闘による運動が進みました。衆議院憲法審査会はまともに開催できず、改憲勢力は、改憲案の論議はおろか提示すらできず、改憲に道を開こうと自民党などの国民投票法改正案の強行を目論みましたが果たせませんでした。自民、公明、日本維新の会、希望の党が2018年6月に共同提出した国民投票法改正案は継続審議となりました。

さらに秋田と山口に建設が企まれたイージス・アショアは、「撤回」が閣議決定されました（6月24日）。この背景には予定地の粘り強い反対運動があり、ずさんな計画を露呈し、矛盾を拡大しました。辺野古新基地建設も白紙撤回をとの声が上がって当然です。イージス・アショアの問題は憲法と日米の「安全保障・防衛」政策にとって重要な問題のひとつです。日米安保が発効して60年の今年、この決定は重大な意味を持つに違いありません。

コロナ問題の対応でも、市民の要求で拡充された点がいくつかあります。

「声をあげれば政治は変わる」「署名運動が世論と政治を動かしている」、これが通常国会を通じての強い確信となっています。

## 各地の活動から

### 東京 / “国会を開け！55回目の国会行動 総がかりとアクション”

**戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と安倍9条改憲NO！全国市民アクション**が呼びかけた戦争法強行から55回目の国会前行動・集会が6月19日行われました。折から大雨となった本格的な梅雨空の下、4月、5月の空白を埋めるかのように1200人が参加、フィジカル（物理的）ディスタンスをとって国会図書館前まで広がって行動しました。コロナ対策でコールや音楽はありませんでした。

17日に閉会となった通常国会では悪法が多くとおされた一方、検察庁法改正案の廃案など市民の声で政治が動いたこと、国会を開催して、コロナ対策、モリ・カケ、桜を見る会、河井夫婦の逮捕、イージス・アショアなど山積している問題にあたること、どさくさに紛れて繰り返す改憲発言は許さない、安倍政権は退陣するしかないなどの発言者の訴えに共感が広がりました。

国会からは、岸真紀子（立憲民主党）、山添拓（日本共産党）、福島瑞穂（社会民主党）、高良鉄美（沖縄の風）の各参院議員が連帯のあいさつ。スピーチは清水雅彦日体大教授（憲法学）、止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会の木村辰彦さん、劇作家・演出家の坂手洋二さん、ジャーリストの志葉玲さんが行いました。

### 東京 / 2ヶ月ぶりのフルコース行動、SNS講座も 八王子アクション

**八王子アクション**は6月14日、フルコース・フルタイムの行動・集会に取り組みました。この間コロナ対策で時間を短縮し、プログラムも端折ってきました。

八王子駅前広場には140人が結集。現役の学生から学費問題、現役の先生からは学校現場の報告がされました。久々に会った仲間たちとの交流で、ニコニコの超党派・八王子アクションとなりました。

集会後には、今後SNSでも活動できるようにと八王子で活動する若者が中心となって、八王子アクション主催で「SNS講座」を行いました。ツイッターのアカウントを作成し、初めてのツイート、ハッシュタグのつけ方までサポートし、盛り上がりました。講座は大好評で次のアクションの後にも開催することになりました。

### 北海道 / 札幌でレッドアクション 海外派兵反対・憲法守る女性連絡会

**自衛隊の海外派兵反対！憲法の平和原則を守る北海道女性連絡会**は6月10日、札幌駅前でレッドアクションを行いました。赤いグッズを身に着け、「#コロナに乗じた改憲NO 安倍9条改憲反対 いのちとくらしを守れ 軍事費削ってコロナ対策に」「#自粛と補償はセットだろ」の横断幕を掲げ宣伝。改憲発議に反対する全国緊急署名を訴えました。

署名には「9条をかえたら戦争になっていきそう。戦争は絶対だめ」「コロナ禍でいろいろ問題がでているとき、改憲を持ち出すのはどういうこと」などと語りながら署名する女性の姿がありました。

### 青森 / 「安倍さんたちに命は預けられない」 青森県九条の会

**青森県九条の会**は6月12日、青森市新町商店街で宣伝、改憲発議反対署名の協力を呼びかけました。通る人が次つぎ署名しました。

「コロナではっきりしたのは感染症対策の貧困さ。命を守る対策に出し惜しみする政治は恐ろしい。安倍さんたちに命は預けられない」「自分がやったことに責任を持たず、口先だけ。平気で他人を陥れる人それが安倍さん。要するに卑怯者」「安倍首相は信用できない。日本を戦争する国にしたがっている。そんなひとりに9条をさせち絶対にダメだ」などと怒りの声をあげながら署名しました。

**青森県九条の会**は、19日には、「19日行動」を青森市駅前公園で行いました。行動には24人が参加、「116億円の戦闘機爆買いやめてコロナ対策へ」などのポスターを掲げ宣伝しました。対話が弾み、離れたところから拍手で声援も送られました。

### 秋田 / イージスよりコロナ対策を 憲法改悪反対秋田共同センター

**憲法改悪反対秋田県センター**は6月9日、秋田駅前でスタンディングを中心とした宣伝行動を取り組みました。この間中止していた「9の日」宣伝行動の再開です。

「軍事費を削っていのちとくらしを守れ！陸上イージスやめてコロナ対策を」「憲法を守り、地域やくらし、職場に生かす政治を」などの横断幕やボードを掲げ訴えました。

### **山形 / コロナ禍対策で国会を開け 安倍改憲NO！やまがた県民の会**

**安倍改憲NO！やまがた県民の会**は6月19日、山形駅前で宣伝署名行動に取り組みました。コロナ禍で定例行動を中止していましたがこの日再開したものです。

県平和センターの森伊織議長が「安倍政権は疑惑追及を恐れて野党の国会延長要求を拒否した」と指摘、「命と健康、暮らしと営業を守るために国会を開け」と訴えました。県労連の勝見忍議長も「河井事件についての安倍首相の責任は重大、政党助成金が買収の原資ではないか」と批判しました。

「平和が最も大切。いずれアウシュビッツを訪れたい」と抱負を述べながら署名する20歳代の女性や「憲法を変える必要などない。改憲を強行させてはダメだ」と語る50歳代の男性の姿もありました。

### **静岡 / 『軍事費削ってコロナ対策』大賛成 静岡県共同センター**

**憲法を守り・いかす静岡県共同センター**は6月9日、同市葵区で宣伝、改憲発議反対署名を呼びかけました。行動には14人が参加、寄せられた署名は17人分でした。

「9条改憲絶対に許さない。憲法を生かしたコロナ対策を」の訴えに、「戦争体験者は絶対に戦争を繰り返してはいけないと思っている。若い人たちは戦争の心配なく9条のもとで平和に暮らしてほしい」と82歳の女性が語りながら署名。70歳という女性は「安倍さんのコロナ対策は後手ばかり。韓国で軍事費を削ってコロナ対策をしているなら日本もそうすべき」と署名。「9条をかえようなんて言う安倍首相は、平和ボケしているんじゃないの」「コロナ対策でも友達優遇で儲けさせる。ひどいよね」と怒りの対話が途切れませんでした。

### **富山 / 「戦争は絶対ダメ」と20歳の青年 憲法を守る富山の会**

**日本国憲法を守る富山の会**は6月9日夕、富山駅前改憲発議反対署名を呼びかけました。横断幕やプラスターなどを掲げて宣伝しました。

富山市内の20歳の男性は、「憲法9条は学校で教わった。戦争は絶対にやってはいけない」と署名しました。

### **宮崎 / 2人連れの高校生も署名 憲法と平和を守る県連絡会**

**憲法と平和を守る宮崎県連絡会**は6月9日、宮崎市のデパート前交差点で改憲発議に反対する緊急署名を呼びかけました。コロナで3ヵ月ぶりの行動となりました。教職員OB九条の会、革新懇、新日本婦人の会などから9人が参加しました。

「若者や自衛隊を戦争に連れて行かないよう9条を守る署名です」と呼びかけると、2人組の高校生が快く署名する場面もありました。

### **届けられた署名用紙に同封の手紙から**

石川県小松市 Mさん

締切りが過ぎてしまっているかもしれませんが、手元に集まった分を送ります。会合が次つきなくなっていて、なかなか署名が集まりにくい状況です。

山形県生活協同組合共立社

生協共立社では、今年の4月より「改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大もあり、呼びかけがあまりできない状況ですが、5月末までに集まった署名用紙を送ります。(生協共立社組織部平和担当Nさん) ※発議反対署名3259人分が送られてきました。